



早いもので、1学期も残りわずかとなりました。ドキドキで来ていた子どもたちもすっかり慣れ、「おはようございます。」「こんにちは。」と元気な挨拶の声で自ら挨拶するようになりました。最近では、少しずつお友だちと関わる姿が見られたり、隣の教室へ行って「貸して。」と自分の言葉でおもちゃを借りる姿があったりと、人とのやりとりを楽しもうとする気持ちが育ってきています。ことばの力が、子どもたちの世界を少しずつ広げていると感じ、とてもうれしく思います。



～待つことが育てる力～

子どもたちは、自分の言葉で伝えたい、やってみいたいという思いをたくさん持っています。しかし、うまく言えなかったり、言葉が出てくるのに時間がかかったりすることがあります。そんな時に、大人が少し待つことで、子どもが自分の言葉を探し、考え、表現しようとする力が育ちます。すぐに答えを言わずに見守ることは、時に勇気があることですが、その沈黙の中にこそ、子どもたちの育ちの芽があるのかもしれない。“待つ”というあたたかいまなざしが、子どもの自信と意欲を育てます。ぜひ、待つことを通して見えてくる、子どもの成長を感じてみてください。

子どもたちの様子を
紹介します！



音の練習をしました。鏡を見ながら、舌の位置を確認しています。正しい音が出た時には、素敵な笑顔でした！



すごろくを使って、口の体操をしています。「あー。」と大きいお口を開ける練習です。次はどこにとまるかな～。

もうすぐ七夕ということで、お願い事を書きました。平仮名表で確認しながら丁寧に書いていました。



「大きいキュウリと小さいキュウリが採れたよ！」と所属園で採れたキュウリを抱えてきたお友達。家で食べるのを楽しみにしていた様子でした。



2学期の指導開始は
9月1日(月)です。
2学期に会えるのを楽しみに
しています！

